

株式会社緒方エッグファーム

熊本県合志市

生産性向上
ものづくり

アニマルウェルフェアの考えに基づく経営方針 大量生産型から高付加価値商品の注力へシフト

たまごの生産・販売、菓子製造・販売、鶏肉加工品の販売、店舗運営を行う。「健康な卵を産む、健康な鶏を育てる」アニマルウェルフェアの考えに基づき、飼料の選定や配合調整、鶏舎内の衛生環境の改善、飼育環境の整備・管理に重点的に取り組み、卵の品質向上、ブランド化に成功。さらに鶏舎の臭いの減少にも繋がり、産卵率も高水準で推移している。一方で、ワークショップのイベントを開催して地域コミュニティ形成の役割を担う、地域に開かれた農場となっている。2020年に農場HACCP認証を取得。

所在地 熊本県合志市合生2121-1
電話/FAX 096-242-3873 / 096-242-1007
URL <http://www.ogataegg.jp>
代表者 代表取締役 緒方 克也

設立 2010年
資本金 400万円
従業員数 12人



インラインシステム導入による業務効率化と人員再配置を通じた生産性向上

鶏舎とGPセンターを繋ぐインラインシステムを導入。これまですべて人の手で行ってきた集卵、積み込み、運搬・荷下ろし、流しといった、労働集約型の各工程をすべて機械化した。この結果、鶏舎で採取した鶏卵は同社店舗内の選卵場までコンベアによって自動で運ばれるため、大幅な業務の効率化に繋がる。人員、時間ともに余裕が生まれたため、人員の再配置・最適化による品質やサービスのさらなる向上、経営力の強化、6次産業化や農商工連携、農場HACCP認証制度への申請等、新規事業へ取り組むことが可能となった。



インラインシステムを導入した配置図

大量生産型から唯一無二の高付加価値商品への注力へシフト

先代から事業承継後、鶏の飼育数を3万羽から1万1千羽まで絞り込むことで、過大な飼育コストを削減。飼育数を減らしたことで1羽1羽に目が行き届くようになり、削減したコストを飼料や鶏舎内の衛生環境の改善に回した。この結果、飼育環境の整備・管理に重点的に取り組むことで、高品質で高付加価値な卵の生産を実現した。同社が取り組む植物由来のオメガ3脂肪酸に着目した飼料による畜産物（オメガ3卵）の生産は、国内養鶏業者では他に例がなく、独自のブランド商品となり、国内外から関心が寄せられている。



高付加価値商品のための生産工程

安全性、信頼性を確保した自動販売機で、新鮮な卵をいつでも安心して購入できる

地元市内を中心に4箇所設置している自動販売機は、対面不要で24時間販売が可能である。とくにコロナ禍において好調。対面不要のデメリット解消のため、生産者の顔や商品のストーリーがわかるよう、商品に係る映像を制作し設備内で放映するなど、設備の改善や鮮度管理の徹底により安全性、信頼性を確保し、集客アップを図っている。また、鮮度管理により市場に出荷できない卵は、自社にてプリンやカステラなどの加工品に回すことで、廃棄ロスの削減および安定的な収益確保につなげている。



卵自動販売所と内部の様子

生産性向上

ものづくり